FX LEDGER

多通貨会計システム
FX Ledger 機能概要書

IFRS準拠・報告通貨USD・本支店会計・ワークフロー承認・送金データ出力・月末外貨換算

Beta version 2.0

対象：経営管理者・経理責任者・システム導入検討者

発行：2026年11月

本書に掲載している画面・数値はすべてデモ用のサンプルデータです。

目次

1. FX Ledger とは

2. 想定する会社と会計の前提

3. 帳簿体系（本店USD／支店＝通貨別帳簿）

4. 機能一覧

5. 仕訳入力（取引通貨・Posting Date／Document Date・間接税・取引先）

6. 本支店資金移動

7. LNG開発JVの会計（Cash Call・Billing・Distribution）

8. ワークフロー承認

9. 支払と送金データの出力（Mizuho・MUFG）

10. 月末の外貨建金銭債権債務の換算

11. 本支店合算時の外貨換算（IAS 21・機能通貨USDでの再測定）

12. 帳簿・財務諸表と本支店合算

13. マスタ管理

14. セキュリティ・内部統制

15. 動作環境とベータ版の制限事項

1. FX Ledger とは

FX Ledger は、海外で事業を行う小規模な会社のための**多通貨会計Webアプリケーション**です。報告通貨であるUSD建ての帳簿を「本店」、USD以外の通貨建ての帳簿を「支店」とする**本支店会計**の考え方で、複数通貨の取引を通貨ごとに記帳します。期末日や任意の日付で支店の帳簿をUSDに換算し、IFRSに準拠した本支店合算の財務諸表を作成します。

取引通貨のまま記帳

請求書の通貨（取引通貨＝Document Currency）と外貨額を入力すると、帳簿通貨の金額は自動で計算されます。外貨額も明細ごとに保存します。

ボタン一つでUSD合算

支店の帳簿をIAS 21に従ってUSDへ再測定し、本店勘定・支店勘定を自動で相殺した合算財務諸表を作成します。

JV会計に対応

LNG開発JVへのCash Call、Billing Statementの取込、Distributionを記帳し、共同支配事業（IFRS 11）の持分相当額を計上します。

内部統制を組み込み

すべての仕訳が起票者 → レビュアー（0〜5名）→ 承認者の順に回付され、承認後に初めて帳簿に転記されます。

送金データを自動作成

未払金の支払伝票を承認者が最終承認するときに、Mizuho・MUFGのWeb Bankingに読み込ませる送金データ（ABA、ISO 20022 pain.001、CSV）を出力します。

月末換算を自動化

外貨建ての預金・未払金などを期末レートで換算する仕訳を、帳簿ごとに自動で作成します。翌月1日付の振戻仕訳も自動で転記します。

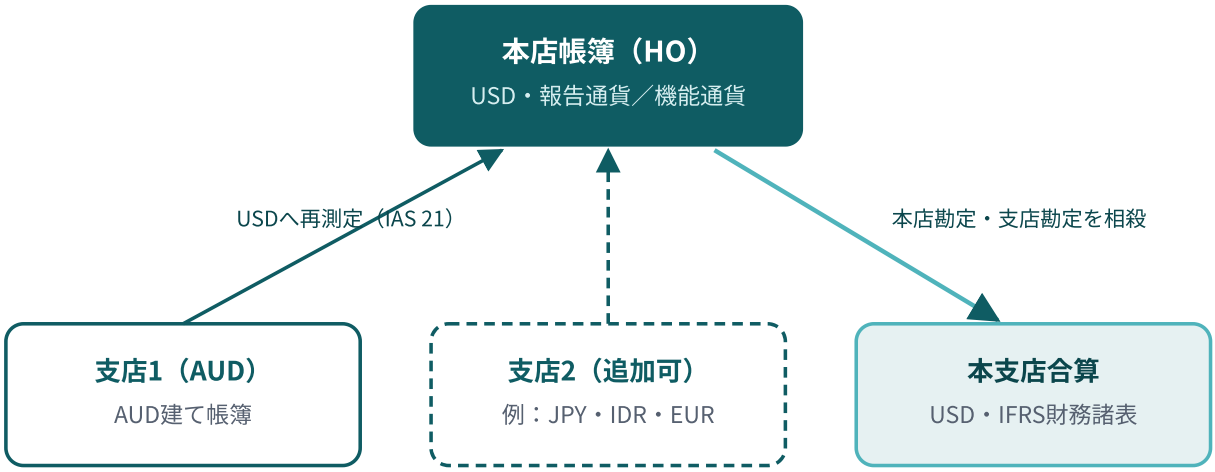
2. 想定する会社と会計の前提

項目	前提
会計基準	IFRS（国際財務報告基準）
報告通貨・機能通貨	USD。支店はUSD建ての会社の一部として、外貨建て取引を再測定します（IAS 21）。
会社の規模	従業員20名程度までの海外の小規模会社。ワークフローに参加できるユーザーは最大20名。
主な事業	LNG開発JV（法人格のない共同支配事業）への参加と、持分に応じたLNGの販売
JVの会計処理	IFRS 11に基づき、参加持分（PI%）に応じた資産・負債・収益・費用を自社の帳簿に直接計上します（いわゆる比例連結と同じ結果）。

間接税	VAT・GST・Sales Taxなど。初期設定はオーストラリアのGST（10%）です。税コードを追加すればほかの国にも対応できます。
会計期間	月次で記帳し、締めた期間はロックします。事業年度の開始月は設定で変更できます。

3. 帳簿体系（本店USD／支店＝通貨別帳簿）

通貨ごとに独立した帳簿（Book）を持ちます。USD建ての帳簿が本店、それ以外の通貨の帳簿が支店です。初期設定は「本店＝USD」「支店1＝AUD」で、支店2以降はシステム管理者が通貨を指定して追加できます。



- どの帳簿も同じ勘定科目体系を使います。一つの勘定科目マスタを全帳簿で共有します。
- 本店側の「1950 支店勘定」と支店側の「3900 本店勘定」は、本支店資金移動の画面からしか動かせません。そのため、合算時の相殺額は常に一致します。
- 帳簿ごとに小数点以下の桁数（例：JPY・IDRは0桁）を設定できます。
- どの帳簿でも、帳簿通貨以外の通貨（例：支店AUD帳簿でのUSD建て請求書、本店USD帳簿でのJPY建て請求書）の取引を記帳できます。
- 銀行口座は、USD口座（Mizuho・MUFG）を本店帳簿、AUD口座（Mizuho・MUFG）を支店1（AUD）帳簿で管理します。

4. 機能一覧

区分	機能	概要
入力	仕訳入力	帳簿（通貨）と取引通貨を選び、借方・貸方の科目、外貨額、取引先、税コード、摘要を入力します。Posting DateとDocument Dateの両方を持ちます。未払金には支払期日と請求書番号を入力します。
	支払（送金）	未払の請求書を選んで支払伝票を作成します。支払口座、振込先口座、為替差損益は自動で決まります。
	外貨換算（月末）	帳簿ごとに外貨建金銭債権債務を期末レートで換算する仕訳を作成し、ワークフローに回付します。
	本支店資金移動	本店側はUSD金額、支店側は現地通貨金額で入力します。1枚の伝票で両方の帳簿に記帳し、実効レートを記録します。
	JV Billing取込	オペレーターのBilling Statement（Excel／CSV）を読み込み、参加持分で按分した仕訳の下書きを作成します。
	添付ファイル	請求書などの証憑（PDF、画像、Excelなど）を伝票に添付します。
ワークフロー	回付	起票者 → レビュアー（0〜5名、指定順）→ 承認者の順に回付します。回付先は伝票ごとに指定します。
	承認・差戻し・却下	差戻しと却下にはコメントが必須です。差し戻された伝票は起票者が修正して再回付します。
	引戻し・取消・逆仕訳	回付中の伝票は起票者が引き戻せます。転記後の訂正は逆仕訳で行い、逆仕訳も承認を経て転記されます。
	受信箱	自分の承認待ちと、自分が起票した未完了の伝票を一覧で表示します。
	送金データ	支払伝票の最終承認時に、承認者がデータ形式を指定して送金データを出力します。出力済みファイルは保存され、承認者とシステム管理者が再ダウンロードできます。

帳簿・財務諸表	通貨別の帳簿	仕訳帳、総勘定元帳、試算表、間接税集計表を出力します。仕訳帳と総勘定元帳には取引通貨と外貨額も表示します。
	財務諸表	財政状態計算書、純損益及びその他の包括利益計算書、持分変動計算書、キャッシュフロー計算書（間接法）を出力します。
	換算・合算	支店のUSD換算財務諸表、本支店合算財務諸表、本支店合算精算表、支店換算表を出力します。すべてExcel出力とPDF出力に対応しています。
	債務・外貨	未払金明細（支払予定表）、外貨換算プレビュー、支払一覧を出力します。
マスタ・管理	マスタ	勘定科目、取引先（Vendor／Customer一元管理、振込先口座）、当社銀行口座、税コード、為替レート、帳簿（通貨）、JVコード対応表
	管理	ユーザーとロール、振込先口座の承認、会社の設定、期間締め、監査ログ、日本語／英語の画面切替

5. 仕訳入力

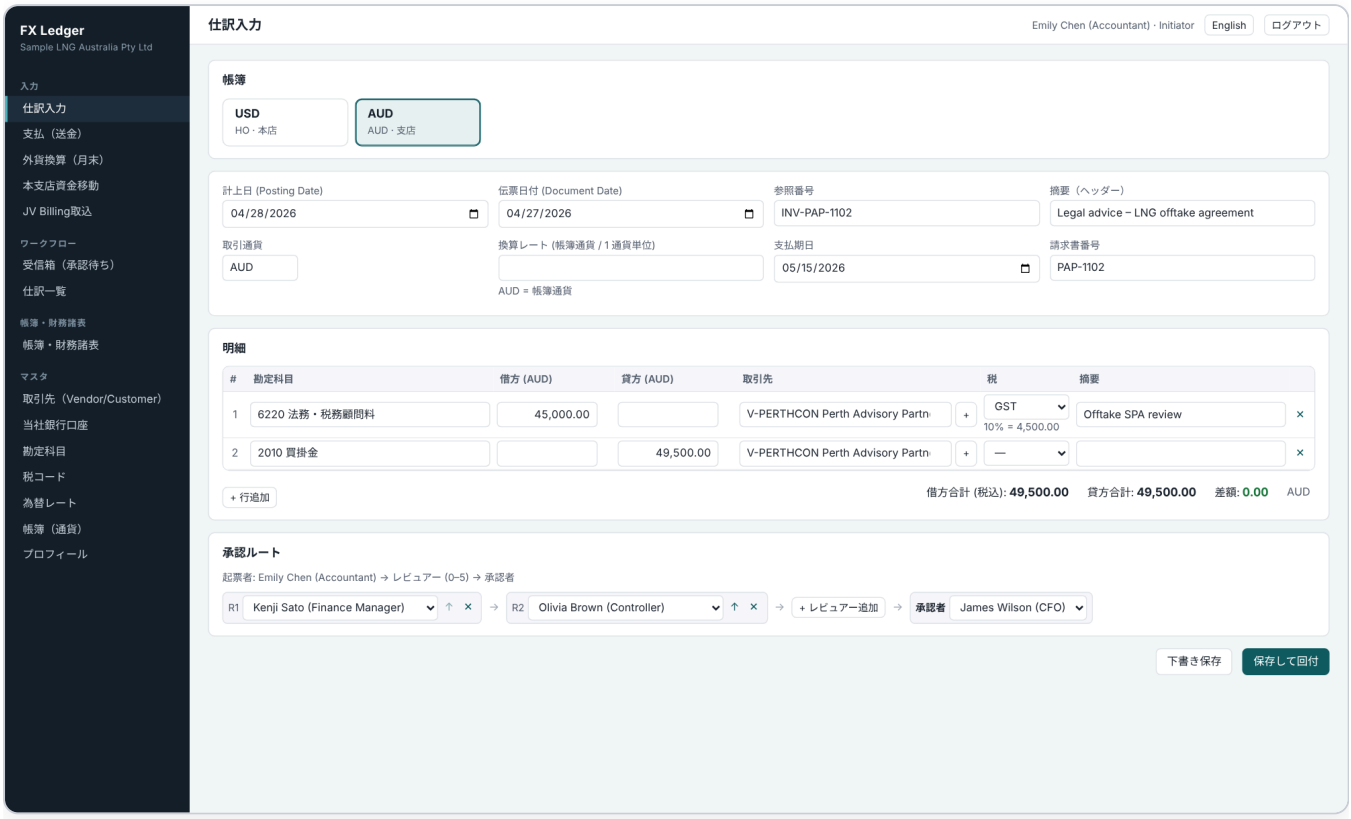


図5-1　仕訳入力画面（支店AUD帳簿、GST課税仕入、レビュアー2名＋承認者を指定）

取引通貨（Document Currency）と外貨額

伝票ごとに**取引通貨**を指定し、明細には請求書に記載された通貨の金額（外貨額）を入力します。帳簿通貨の金額は「換算レート（帳簿通貨／1通貨単位）」を掛けて自動で計算され、端数は保存時に最も大きい行で調整されます。

- 換算レートは、Posting Dateの日次レート（D）、なければ月中平均レート（M）を既定値として表示します。為替レートはUSD建てで登録されているため、AUD帳簿でJPYを使う場合などはUSD経由のクロスレートを使います。
- 換算レートは伝票ごとに上書きできます（銀行の実際のレートを使う場合など）。
- 本店USD帳簿でJPY・EURの請求書を、支店AUD帳簿でUSDの請求書を記帳できます。取引通貨と外貨額は明細ごとに保存され、月末換算と支払に使われます。

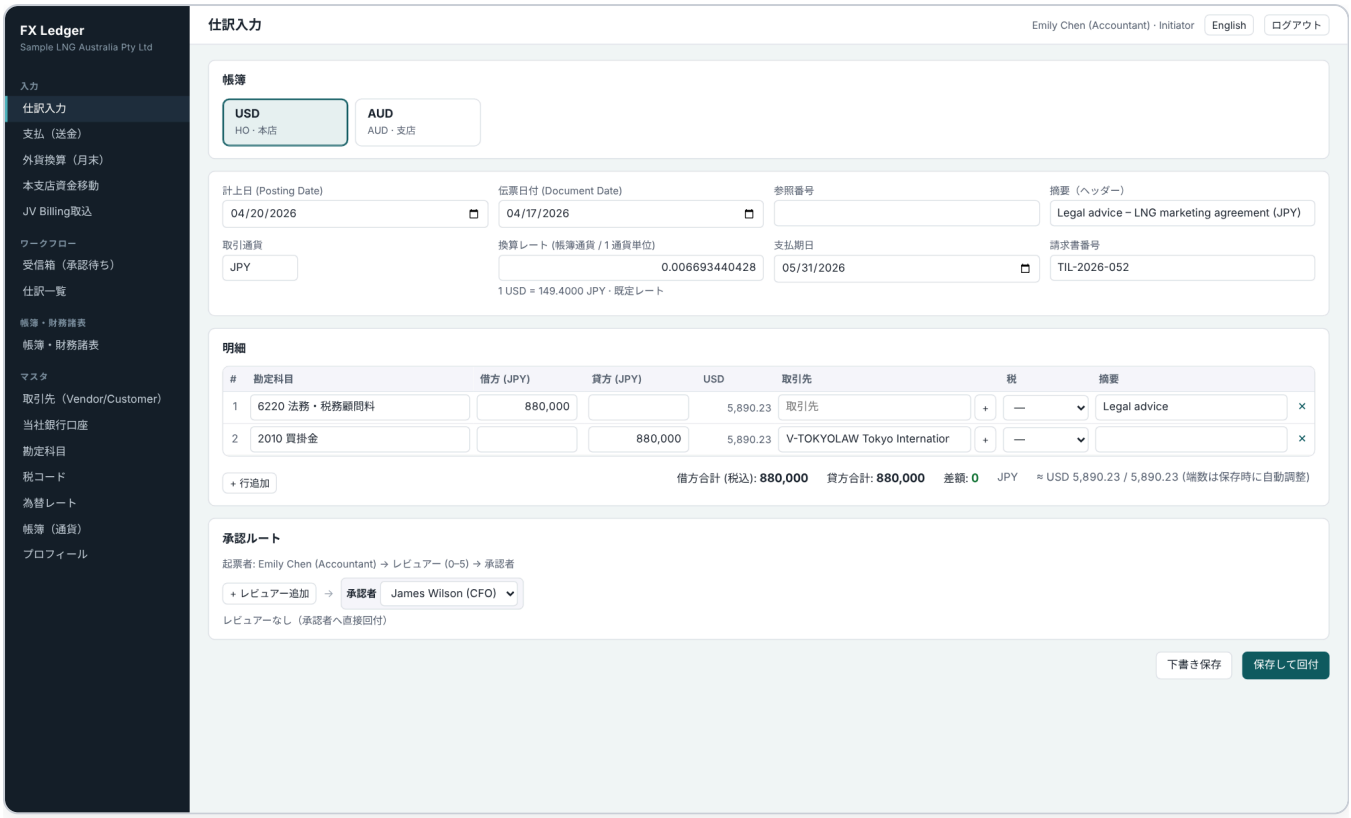


図5-2　取引通貨JPYでの請求書入力（本店USD帳簿）。USDの金額はレートから自動で計算

未払金（支払期日と請求書番号）

「2010 買掛金」は**未決済項目（Open Item）**として管理します。貸方に計上するときは、取引先（Vendor）、**支払期日**、**請求書番号**の入力が必須です。転記された請求書は支払が転記されるまで「未払」となり、支払画面や未払金明細に表示されます。

Posting Date と Document Date

SAPと同じように、帳簿に計上する日付（**Posting Date**）と、取引が発生した日付（**Document Date**、請求書の日付など）を分けて入力します。帳簿、財務諸表、期間締めはPosting Dateを基準にします。

間接税（VAT／GST／Sales Tax）

明細行で税コードを選ぶと、税額の行（仮払消費税または仮受消費税）が自動で作られます。税額の行は、元の行と同じ借方・貸方の側に作られます。画面では税込みの合計額と貸借差額がその場で計算されます。税コード、税率、税額を計上する勘定科目はマスタで変更できます。

取引先（Vendor／Customer）

仕入先（Vendor）と得意先（Customer）を一つのマスタで管理します。一つの取引先を両方として登録することもできます。仕訳を入力しながら、明細行の［＋］／［✎］ボタンで取引先を追加・修正できます。総勘定元帳は取引先で絞り込めます。

6. 本支店資金移動

本店と支店の間の資金のやり取りは、専用の画面から入力します。本店側にUSD金額、支店側に現地通貨の金額を入力すると、1枚の伝票で次の4行が自動で作られます。

帳簿	借方	貸方	金額
本店（USD）	1950 支店勘定	本店側の相手科目（例：1010 預金）	USD 425,000
支店（AUD）	支店側の相手科目（例：1010 預金）	3900 本店勘定	AUD 600,000

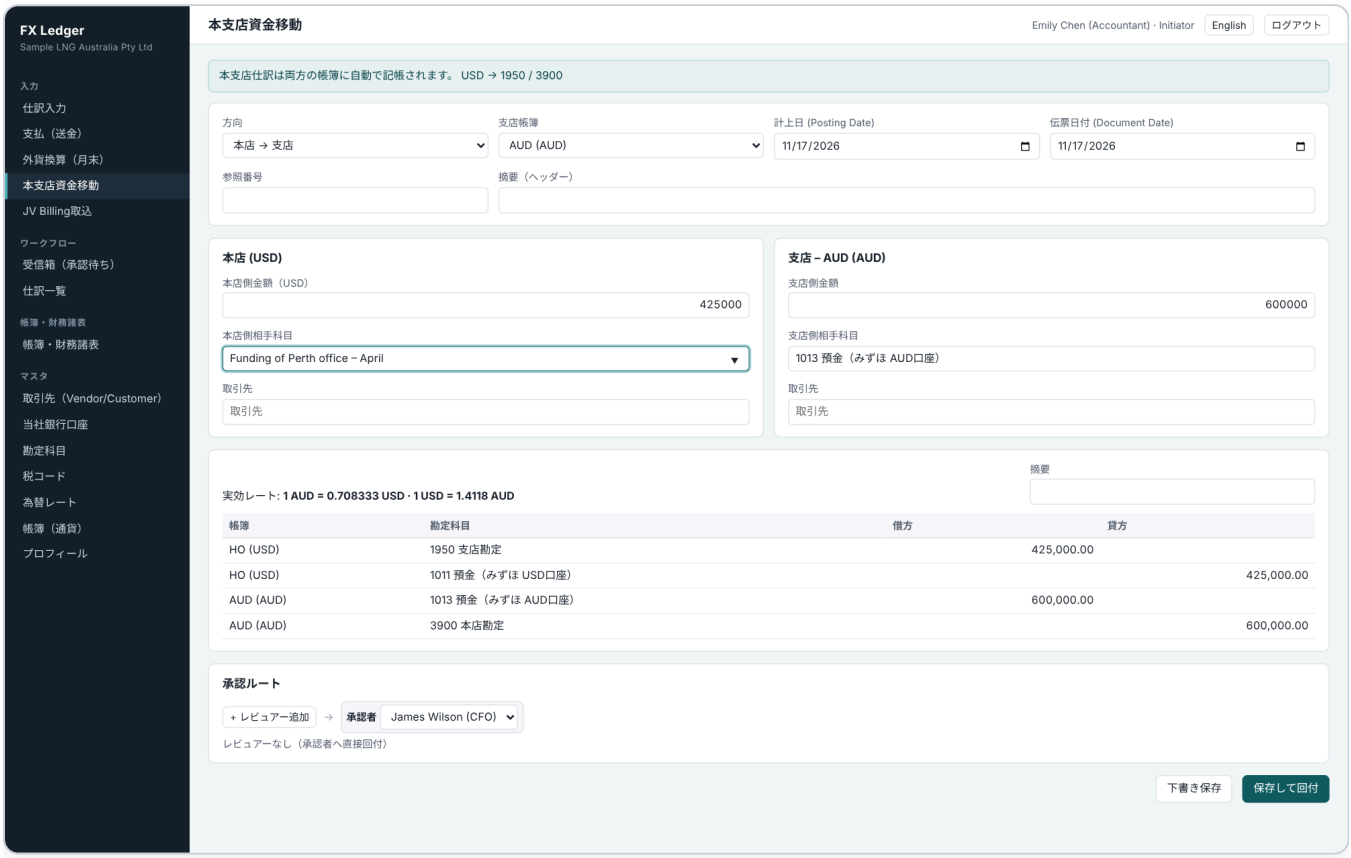


図6-1　本支店資金移動画面。実効レートと、記帳される仕訳のプレビューを表示

支店側の行には、入力したUSD金額が記録されます（ヒストリカル額）。換算時、本店勘定はこのUSD額で固定されるため、合算時に本店の支店勘定とぴったり相殺されます。支店から本店への送金や、本店が支店の経費を立て替えた場合も、同じ画面で処理できます。

7. LNG開発JVの会計

法人格のないLNG開発JVは、通常IFRS 11の「共同支配事業（Joint Operation）」に当たります。参加者は、自社の持分（Participating Interest、PI%）に応じた資産、負債、収益、費用を自社の帳簿に直接計上します。FX Ledgerでは、次の3段階でこれを記帳します。

取引	仕訳の例	補足
Cash Call（拠出）	借方 1310 JVキャッシュコール前渡金／貸方 1010 預金	オペレーターへの資金拠出。前渡金として計上します。
Billing Statement（費用の配賦）	借方 1510 開発中資産、6010 探鉱費、6300 JV一般管理費、1040 JV現預金持分 など／貸方 1310 前渡金	オペレーターからの月次の請求明細を取り込み、持分相当額を前渡金から各科目に振り替えます。
Distribution（分配）	借方 1020 預金（Distribution受入口座）／貸方 4010 LNG売上、1310 前渡金 など	分配の内容に応じて、収益の計上や前渡金の精算として処理します。

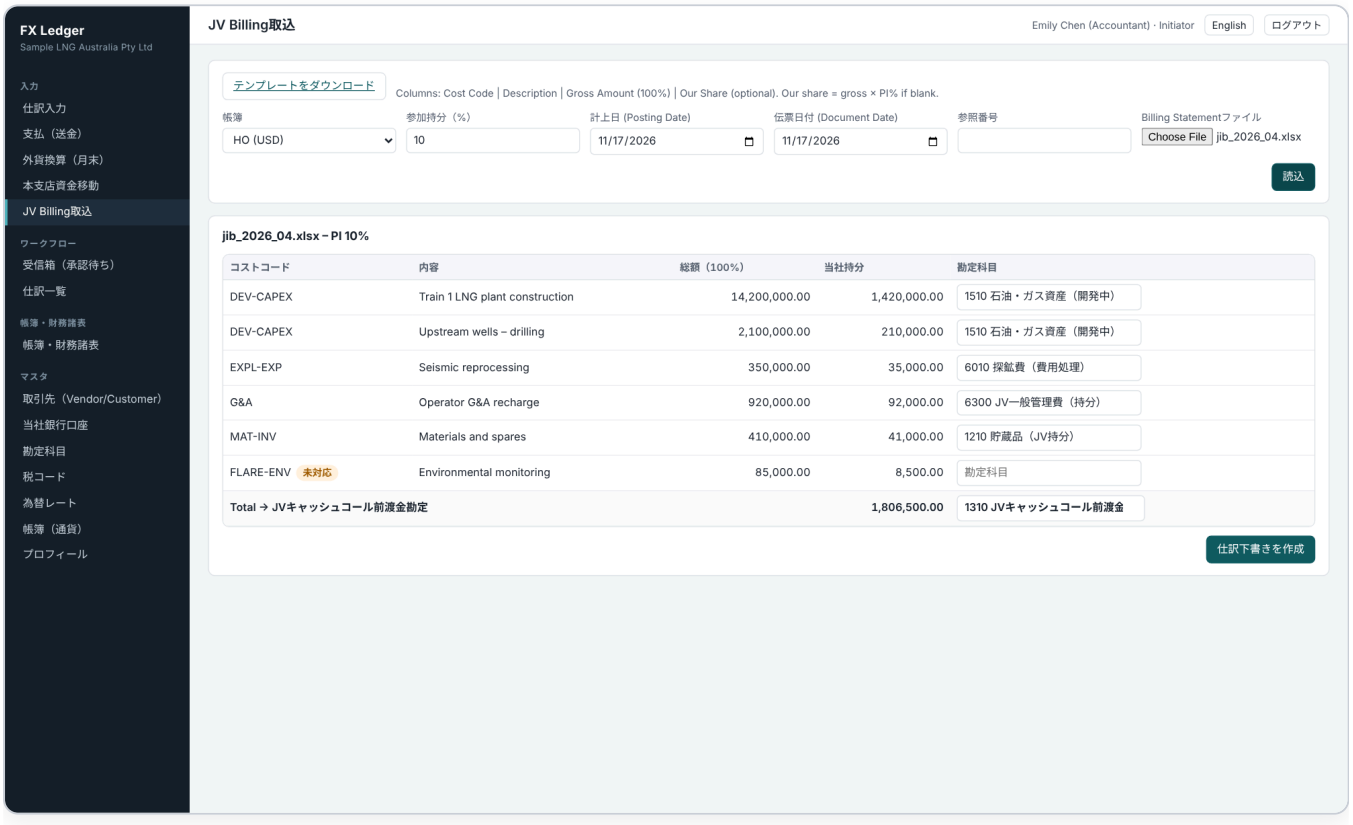
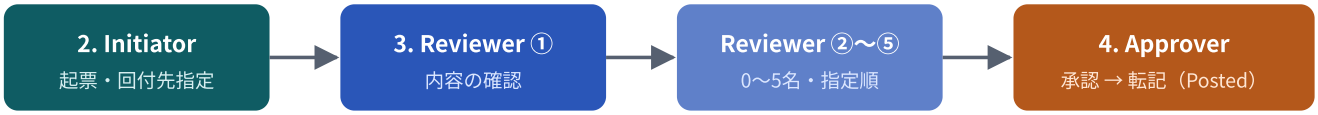


図7-1　JV Billing取込。コストコードを勘定科目に変換し、総額 × PI% で当社持分を計算。対応表にないコードは画面で科目を指定します。

キャッシュフロー計算書では、前渡金を運転資本（営業活動）に区分しています。Billingで開発資産に振り替わった分は、投資活動の支出（Payments for oil and gas properties）として表示されます。そのため、支出の性質に応じた区分で表示されます。

8. ワークフロー承認

すべての仕訳は、次の順に回付され、最後の承認者が承認した時点で帳簿に転記されます。財務諸表には転記済みの仕訳だけが反映されます。



どの段階でも「差戻し（起票者へ）」または「却下」が可能。差戻し・却下にはコメント必須

ロール	できること
1. System Admin	ユーザーとロールの管理（最大20名）、マスタと設定の管理、期間締め、監査ログの閲覧
2. Initiator	仕訳の起票、回付先（レビュアー・承認者）の指定、差戻しへの対応、引戻し、取消、逆仕訳、取引先の追加・修正
3. Reviewer	回付された仕訳の確認と承認・差戻し・却下
4. Approver	最終承認。承認した時点で仕訳が転記されます。支払伝票の最終承認時には送金データの形式を指定して出力します。

職務分掌のチェック：起票者は自分の伝票のレビュアーや承認者になれません。承認者は同じ伝票のレビュアーを兼ねられません。回付する時点で、ロールや有効・無効の状態を再確認します。締め済み期間の仕訳は、回付も承認もできません。

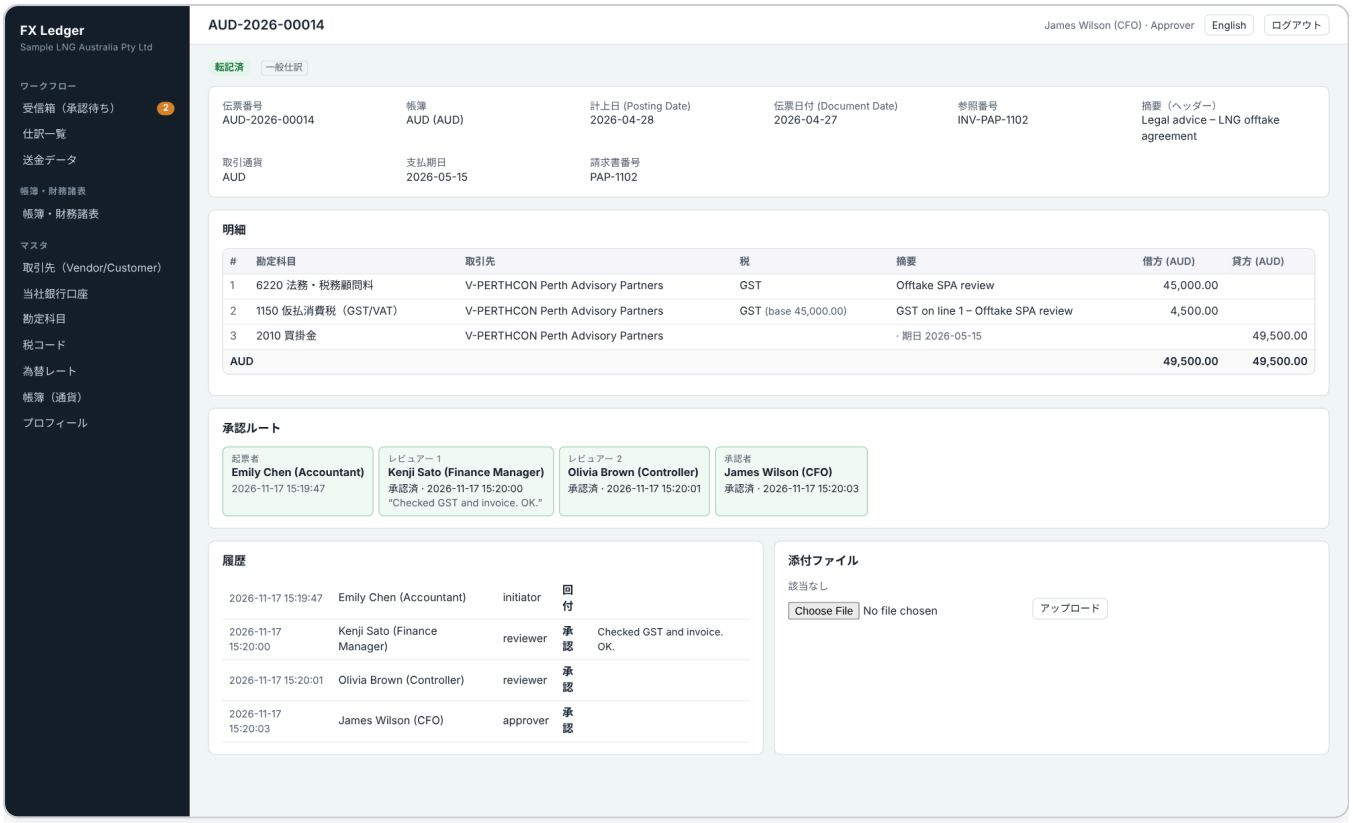


図8-1　承認済み（転記済み）の伝票。承認ルート、コメント、操作履歴を保存します。

9. 支払と送金データの出力

オーストラリアのMizuho・MUFGに保有する口座から支払うためのデータを、ワークフロー承認と一体で作成します。支払伝票の作成から出金指示までのプロセスはJVLedgerと同じです。

口座コード	銀行・口座	帳簿	勘定科目
MZ-USD	Mizuho Bank Sydney・USD口座	本店（USD）	1011 預金（みずほ USD口座）
MU-USD	MUFG Bank Sydney・USD口座	本店（USD）	1012 預金（MUFG USD口座）
MZ-AUD	Mizuho Bank Sydney・AUD口座	支店1（AUD）	1013 預金（みずほ AUD口座）
MU-AUD	MUFG Bank Sydney・AUD口座	支店1（AUD）	1014 預金（MUFG AUD口座）



支払伝票の転記と同時に未払金が消込まれ、送金データ（ファイル）が伝票に保存されます

支払伝票

起票者は［支払（送金）］画面で、Vendor、支払口座、支払日を選び、未払の請求書にチェックを入れます。振込先口座はベンダーマスターから自動で呼び出されます。支払伝票は**支払口座の帳簿**に計上され、仕訳は次のとおり自動で作られます。

明細	金額
借方 2010 買掛金	請求書の帳簿通貨額（計上時のレート＝ヒストリカル）。請求書ごとに消込み
貸方 預金（支払口座）	支払額 × 支払日のレート
7100 為替差損益（実現）	上記の差額

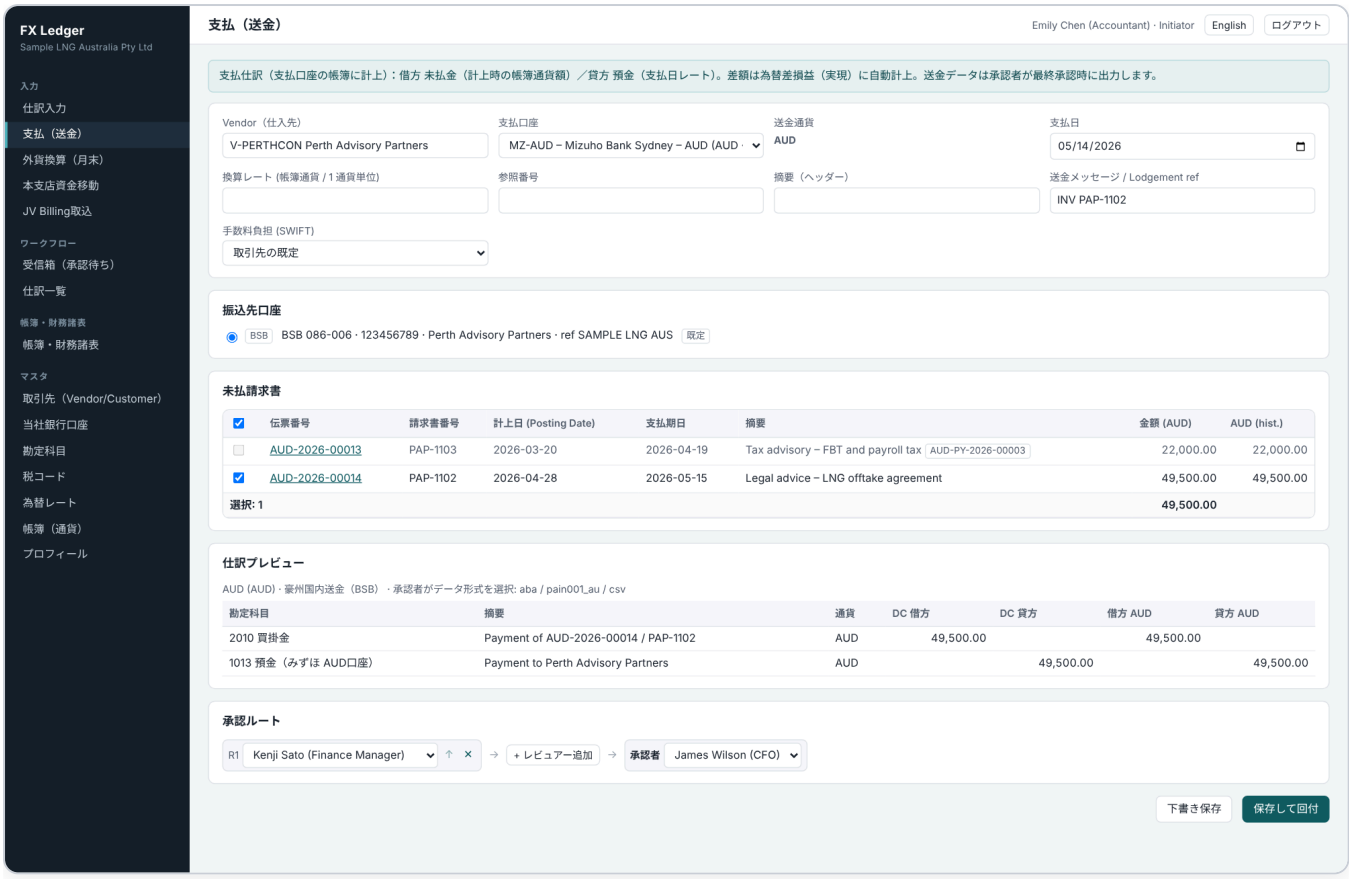


図9-1　支払画面。未払請求書の選択、振込先口座、仕訳プレビューを表示

支払口座と送金方法

支払口座	支払える通貨	送金方法	出力できるデータ形式
AUD口座（Mizuho・MUFG）	AUDのみ	豪州国内送金（BSB）	ABA（Cemtex Direct Entry）／ISO 20022 pain.001.001.09（BSBクリアリング）／CSV
AUD口座	AUD（海外口座あて）	海外送金（SWIFT）	ISO 20022 pain.001.001.09（SWIFT CBPR+）／pain.001.001.03／CSV
USD口座（Mizuho・MUFG）	USD、およびJPY・EURなど他の通貨（銀行が換算）	海外送金・外貨送金	

- 送金データの出力はコンバインしません。支払伝票1件につき1ファイルを作成します。
- BSBの振込先口座（豪州国内）は、AUD口座からのAUD支払にだけ使えます。
- USD口座からJPYの請求書を支払う場合、支払伝票の通貨はJPY、預金の減少額はUSD（支払日のレート）で記帳します。

最終承認と送金データの出力

承認者が支払伝票を最終承認するとき、データ形式を指定するダイアログが表示されます。［承認して送金データ出力］を押すと、伝票が転記され、同時に送金データがダウンロードされます。

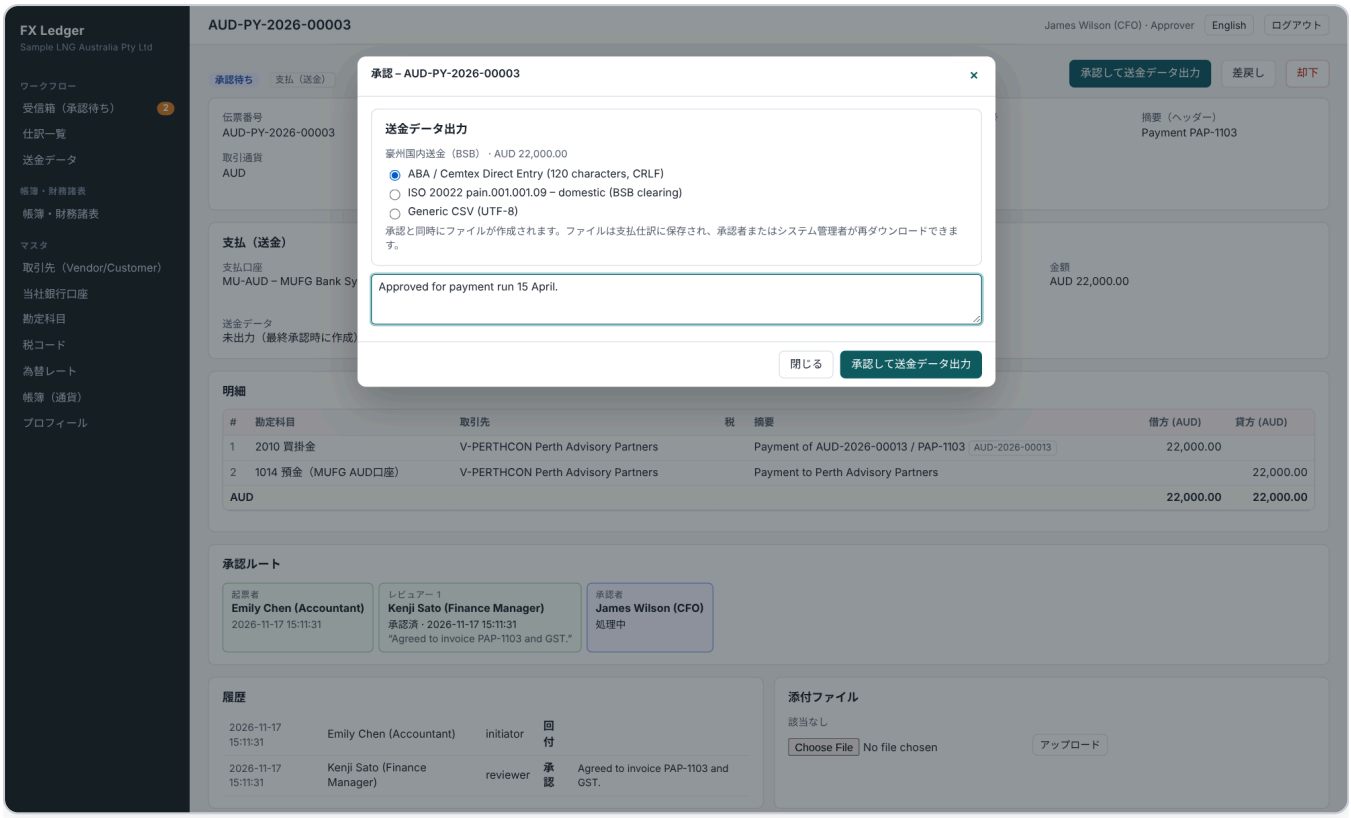


図9-2　最終承認時のデータ形式の指定（豪州国内送金：ABA／pain.001／CSV）

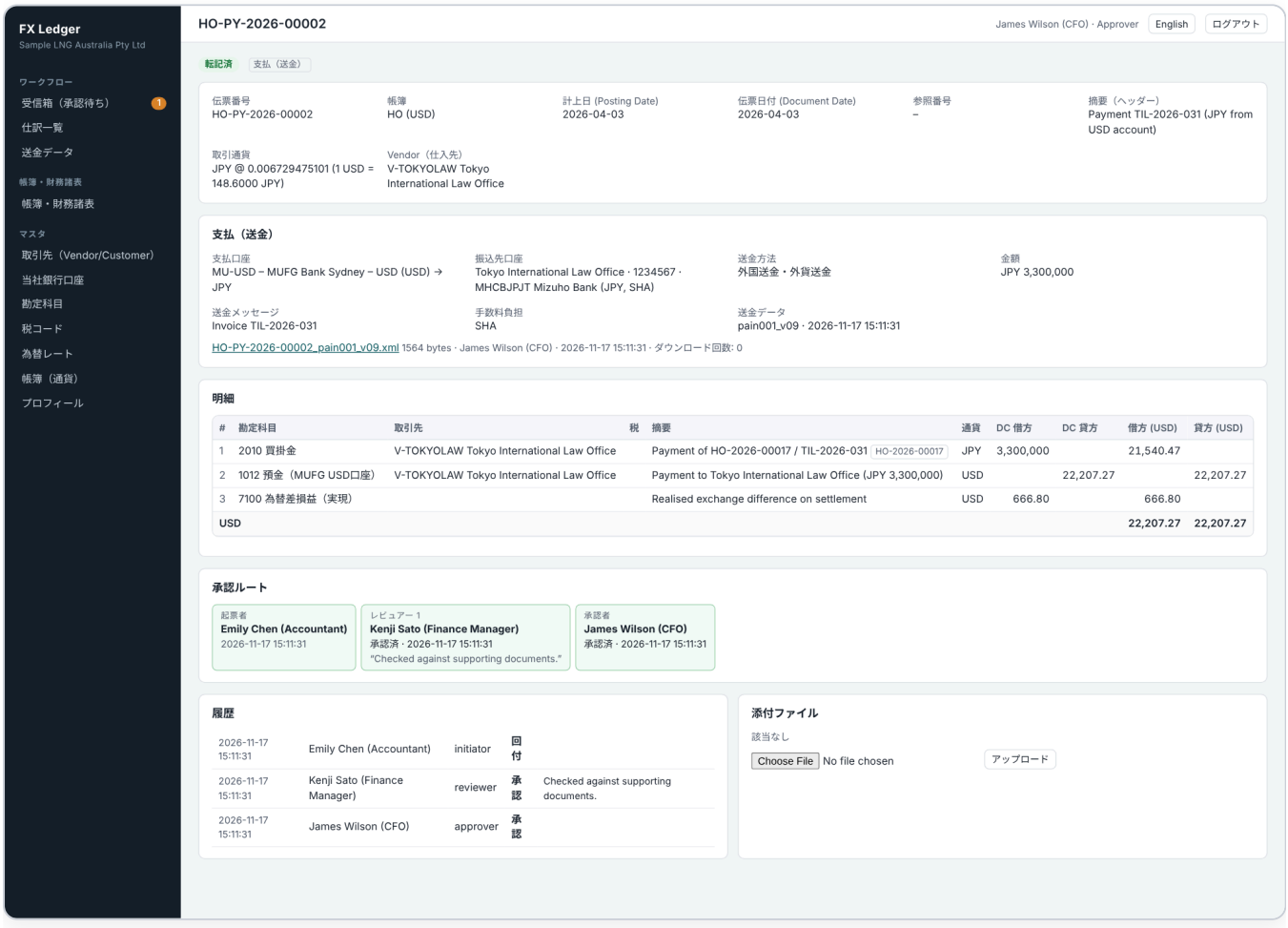


図9-3　USD口座からのJPY支払（転記済み）。未払金の消込み、USDの出金額、実現為替差損益、保存された送金データ

- 出力したファイルはSHA-256のハッシュ値とともに支払伝票に保存されます。［送金データ］画面から、承認者またはシステム管理者が再ダウンロードできます（回数を記録し、2回目以降は二重送金に注意する警告を表示）。
- 支払伝票を逆仕訳すると、消込みが解除され、請求書は再び未払になります。

振込先口座（ベンダーマスター）

振込先口座はVendorごとに複数登録でき、通貨ごとに既定の口座を指定します。種別は「豪州国内（BSB）」と「外国送金・外貨（SWIFT）」の2つです。

- 豪州国内：BSB（6桁）、口座番号、口座名義、Lodgement Reference
- 外国送金：受取人名と住所、口座番号またはIBAN、銀行BIC、銀行名・所在地、中継銀行BIC、手数料負担（SHA／OUR／BEN）、送金目的

> **不正送金の防止：**振込先口座の新規登録・変更は、変更した人以外のシステム管理者が承認するまで支払に使えません。メールで口座変更の連絡を受けた場合は、電話での確認（コールバック）を行ってから承認してください。

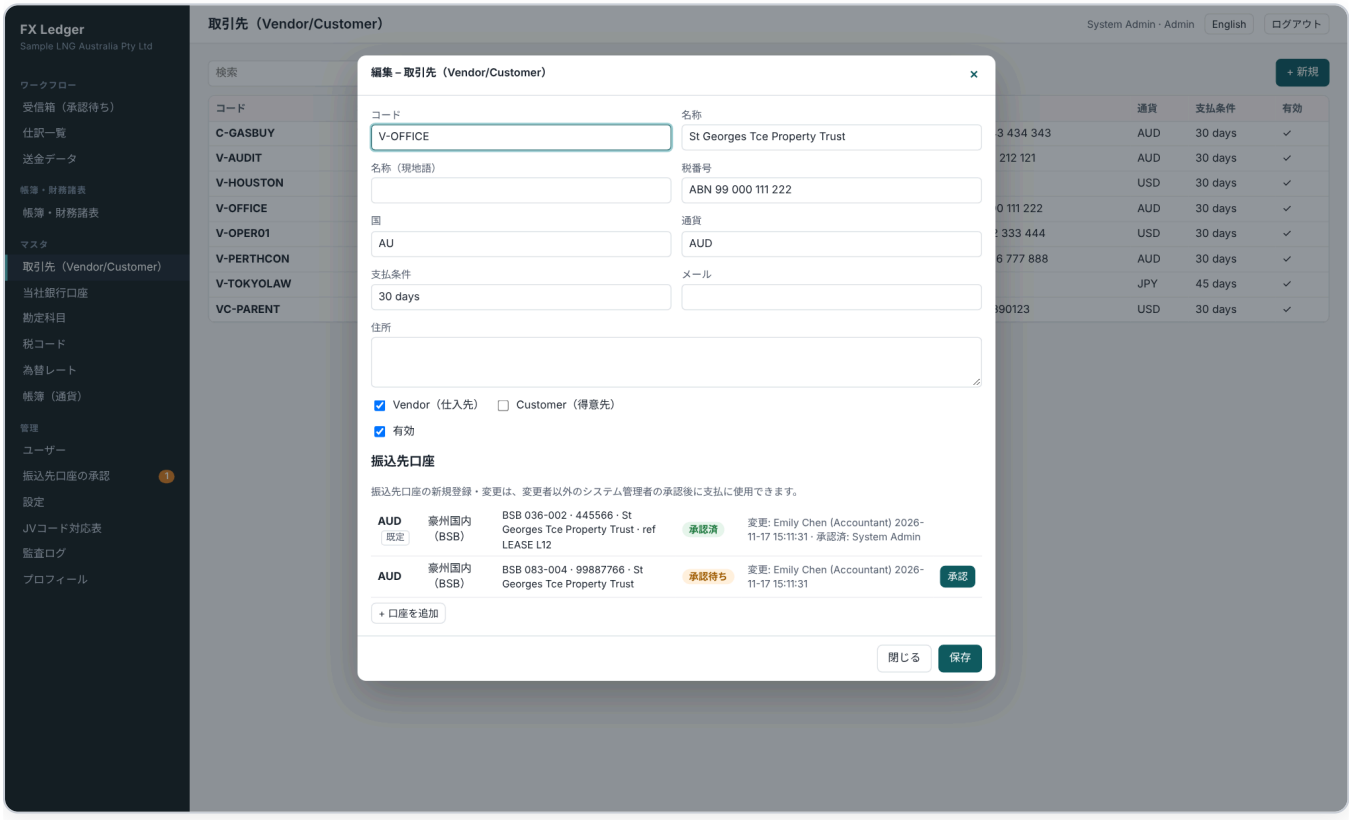


図9-4　ベンダーマスターの振込先口座。承認済みの口座と、承認待ちの変更口座

10. 月末の外貨建金銭債権債務の換算

帳簿通貨以外の通貨で記帳された**貨幣性項目**（外貨預金、取引先別の未払金・未収金、借入金など）を、月末の期末レート（C）で換算し、差額を「7120 為替差損益（期末換算・未実現）」に計上します。換算は**帳簿ごと**（本店・支店とも）に行います。

- ［外貨換算（月末）］画面で帳簿と月末日を選ぶと、科目・通貨・取引先ごとの外貨残高、帳簿価額、期末レート、換算差損益がプレビューされます。
- ［換算実行して回付］で換算仕訳が作成され、通常の仕訳と同じワークフローで承認されます。同じ帳簿・同じ日付の換算は二重に実行できません。
- 換算仕訳が転記されると、**翌月1日付の振戻仕訳**が自動で転記されます（洗替え方式）。支払時の実現為替差損益は常に計上時のレートとの差額になります。

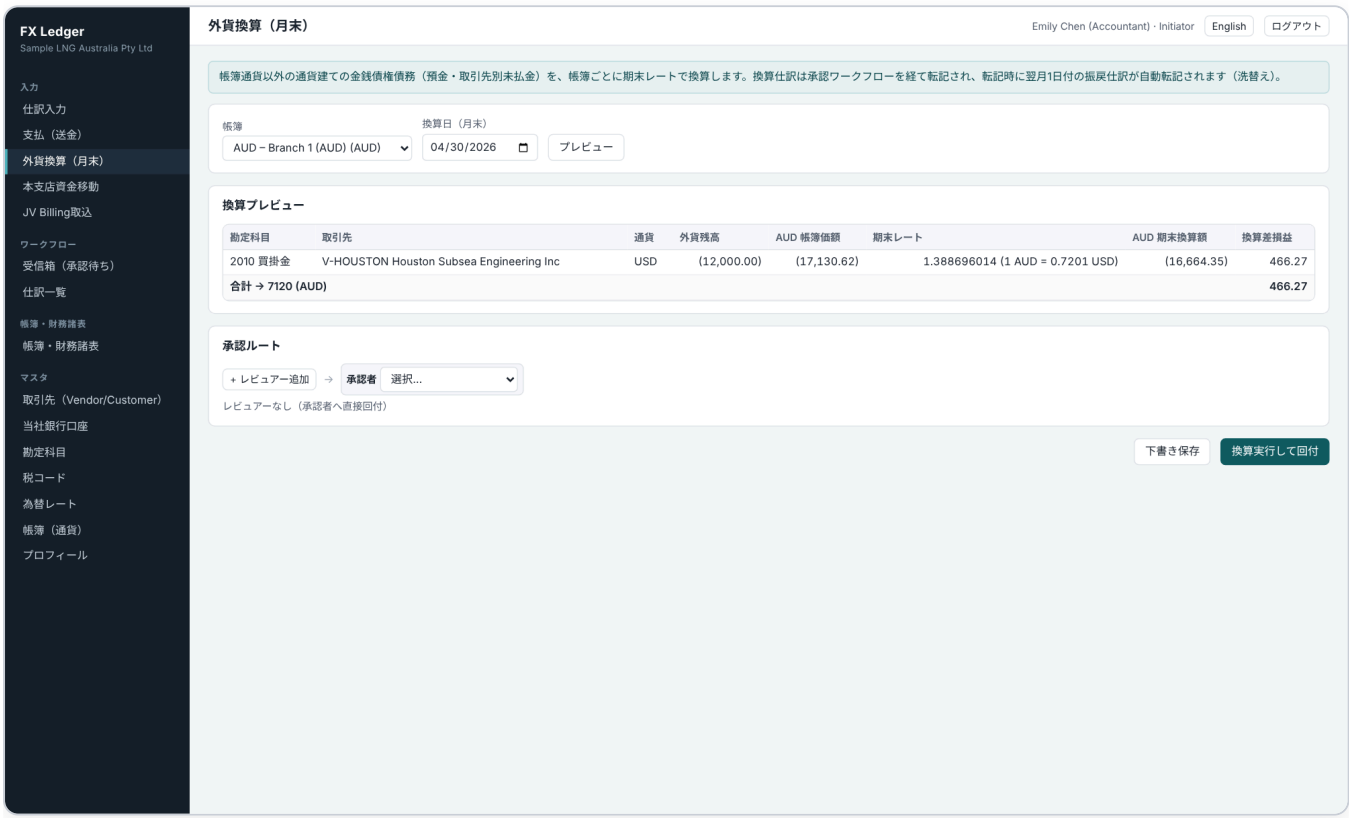


図10-1　外貨換算プレビュー（支店AUD帳簿のUSD建て未払金）

月末換算（7120）は各帳簿の中での外貨換算です。本支店合算時の支店帳簿のUSDへの再測定（7110、次章）とは別に計上されます。

11. 本支店合算時の外貨換算（IAS 21）

支店の帳簿は、機能通貨USDの会社が行った外貨建て取引として、次のルールで**再測定**します。換算差額は純損益の「7110 為替差損益（支店換算）」にシステムが自動で計上します。

項目	使うレート	マスタでの扱い
貨幣性項目（預金、債権債務、借入金、引当金など）	期末レート	勘定科目マスタで「貨幣性項目」にチェック
非貨幣性項目（固定資産、前払金、JV前渡金、棚卸資産など）	取引日のレート（ヒストリカル）	チェックなし
収益・費用	月中平均レート（ない場合は取引日のレート）	—
本店勘定	本支店資金移動で入力したUSD額	本支店勘定（io）

為替レートは「日次（D）」「月中平均（M）」「期末（C）」の3種類を、1通貨単位あたりのUSD額で登録します。1USDあたりの通貨額での入力や、CSVでの一括登録もできます。どのレートを使ったかは、支店換算表で科目ごとに確認できます。

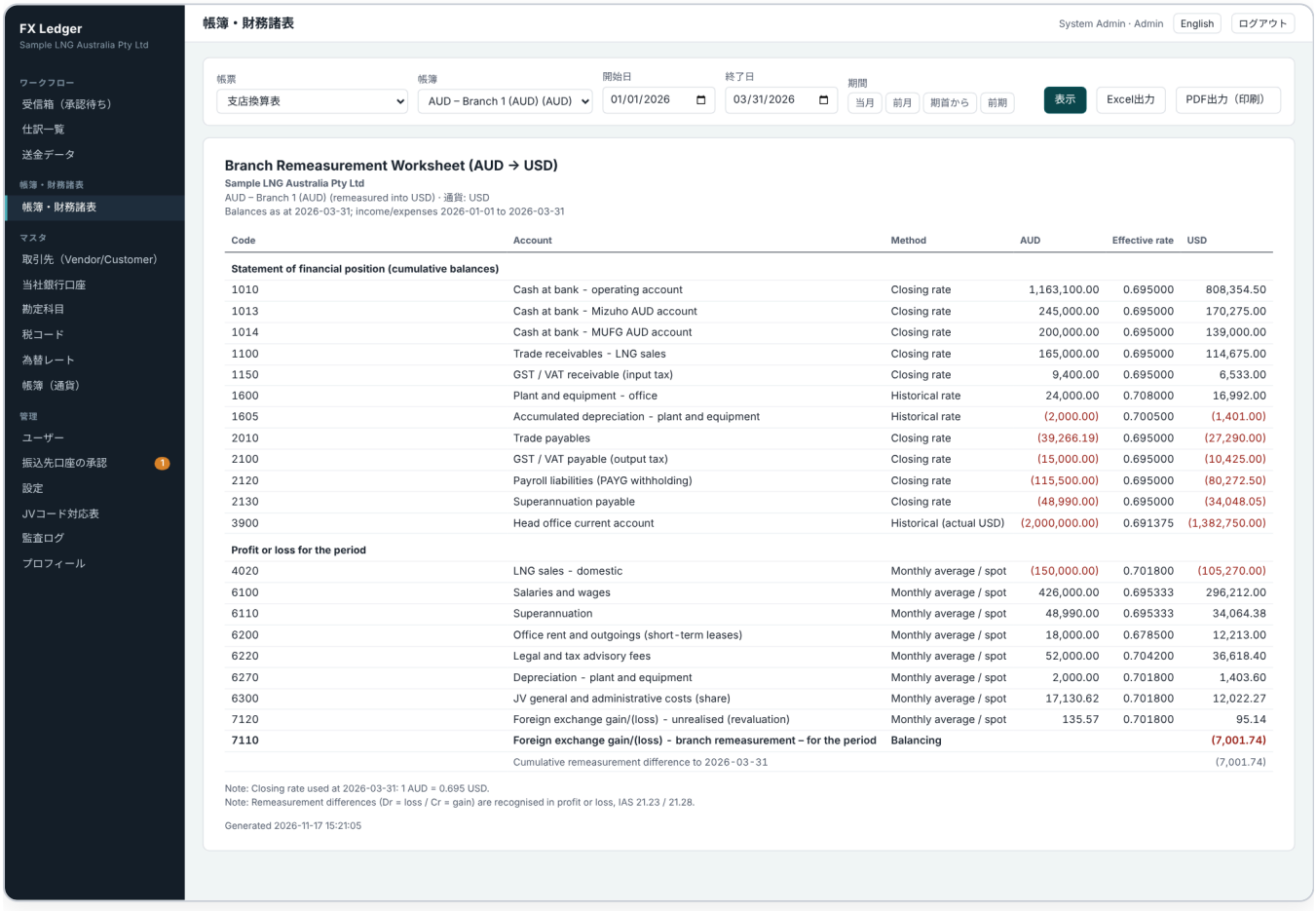


図11-1　支店換算表（AUD → USD）。科目ごとの換算方法、実効レート、換算差額を表示

12. 帳簿・財務諸表と本支店合算

帳票	本店（USD）	支店（現地通貨）	支店（USD換算）	本支店合算
仕訳帳・総勘定元帳	○	○	—	—
試算表	○	○	○	○
財政状態計算書（B/S）	○	○	○	○
純損益及びその他の包括利益計算書	○	○	○	○
持分変動計算書（剰余金計算書）	○	○	○	○
キャッシュフロー計算書（間接法）	○	○	○	○
間接税集計表	○	○	—	—
未払金明細（支払予定表）・外貨換算プレビュー	○	○	—	—
支払一覧	○	○	—	全帳簿
本支店合算精算表・支店換算表	合算時の検証資料（帳簿ごとのUSD額、相殺額、合算額、換算レート）			

- 期間は任意の開始日・終了日で指定できます。期末日に限らず、どの時点でも合算財務諸表を作成できます。
- 財政状態計算書は前期末（開始日の前日）との比較で表示します。［勘定科目を表示］にチェックすると科目の内訳も出ます。
- どの帳票も［Excel出力］（.xlsx）と［PDF出力（印刷）］に対応しています。PDFはA4の帳票用レイアウトで出力し、列が多い帳票は横向きになります。

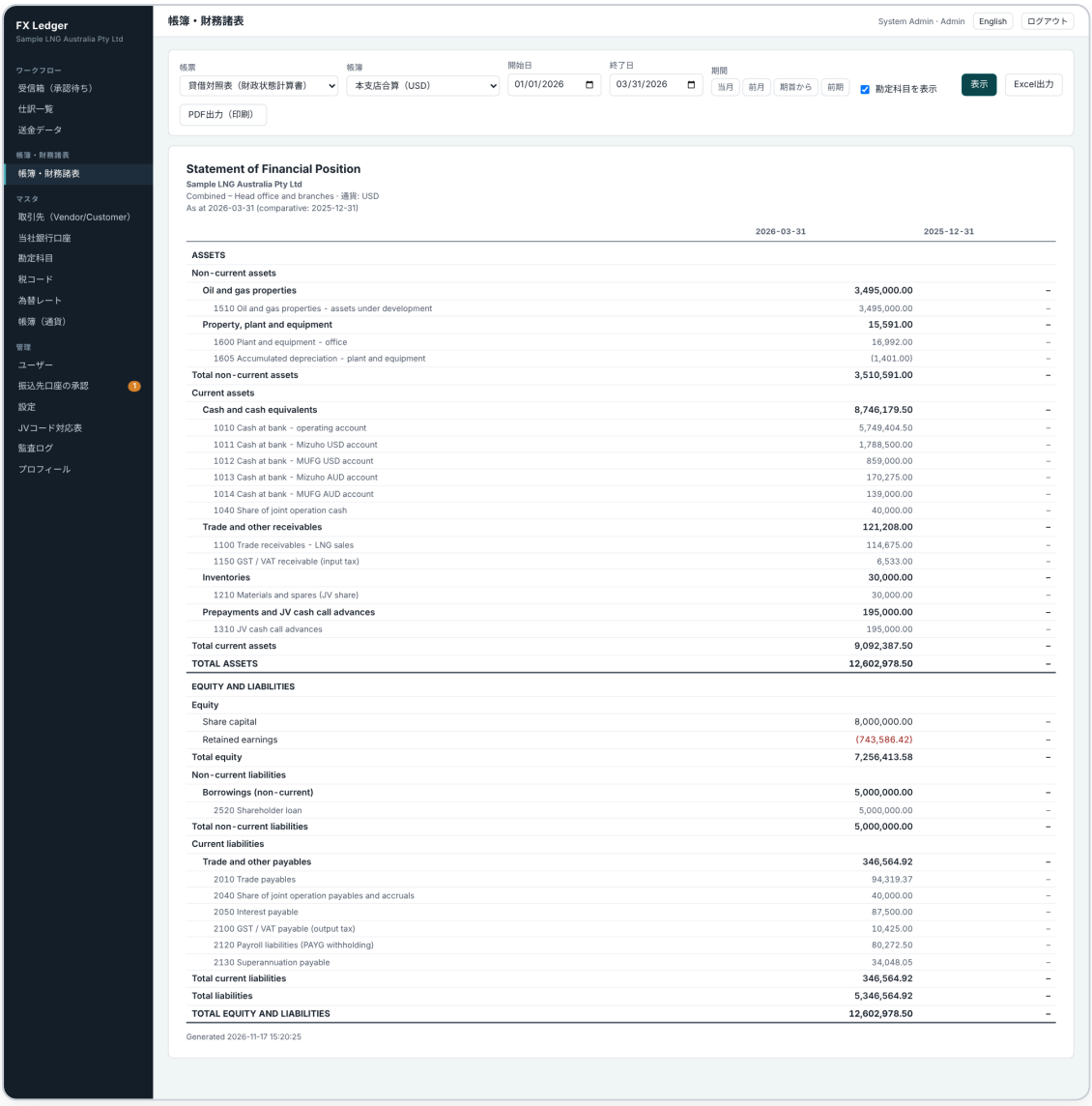


図12-1　本支店合算の財政状態計算書（USD、科目内訳を表示）

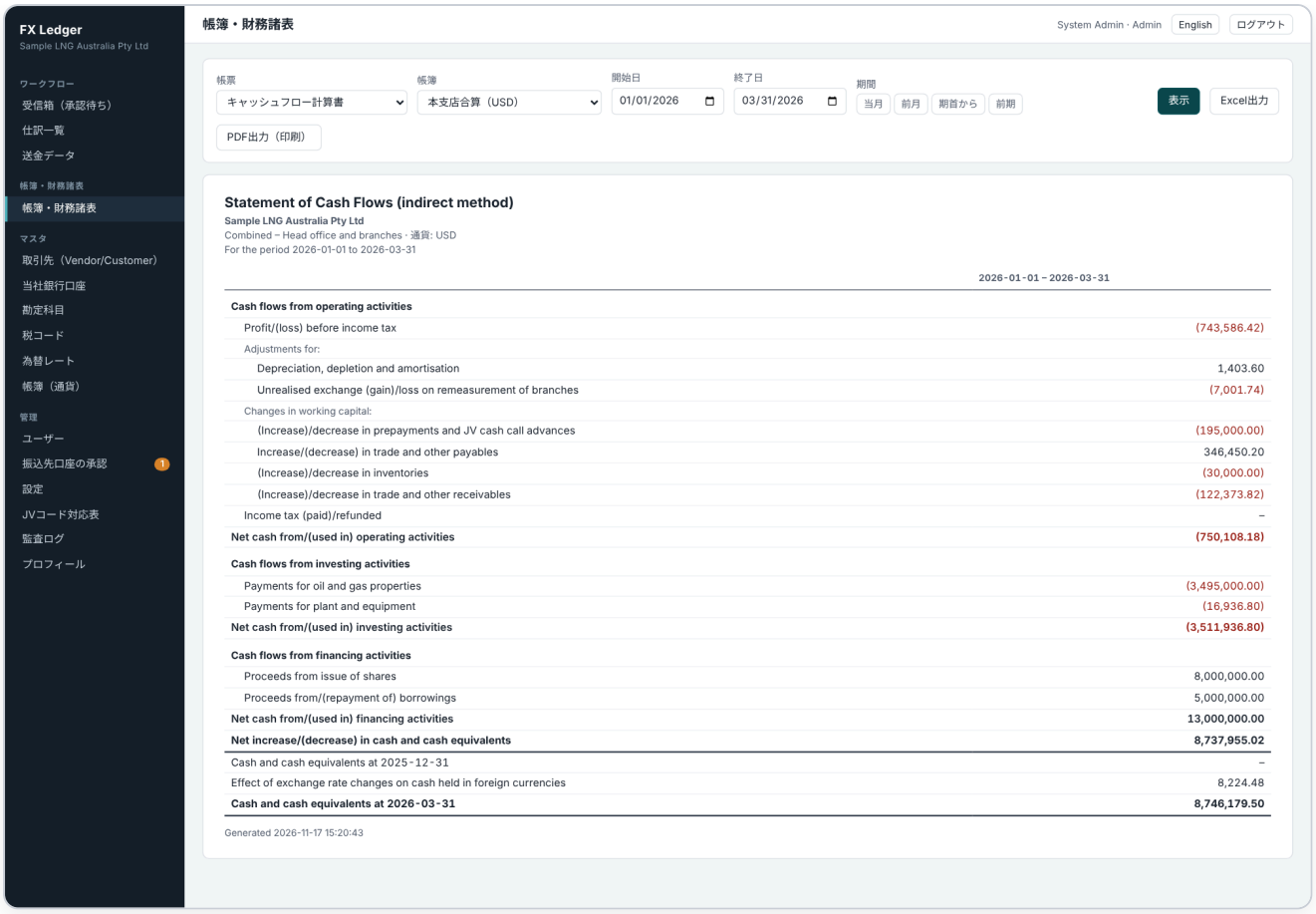


図12-2　本支店合算のキャッシュフロー計算書（間接法）。為替の影響額を別の行に表示

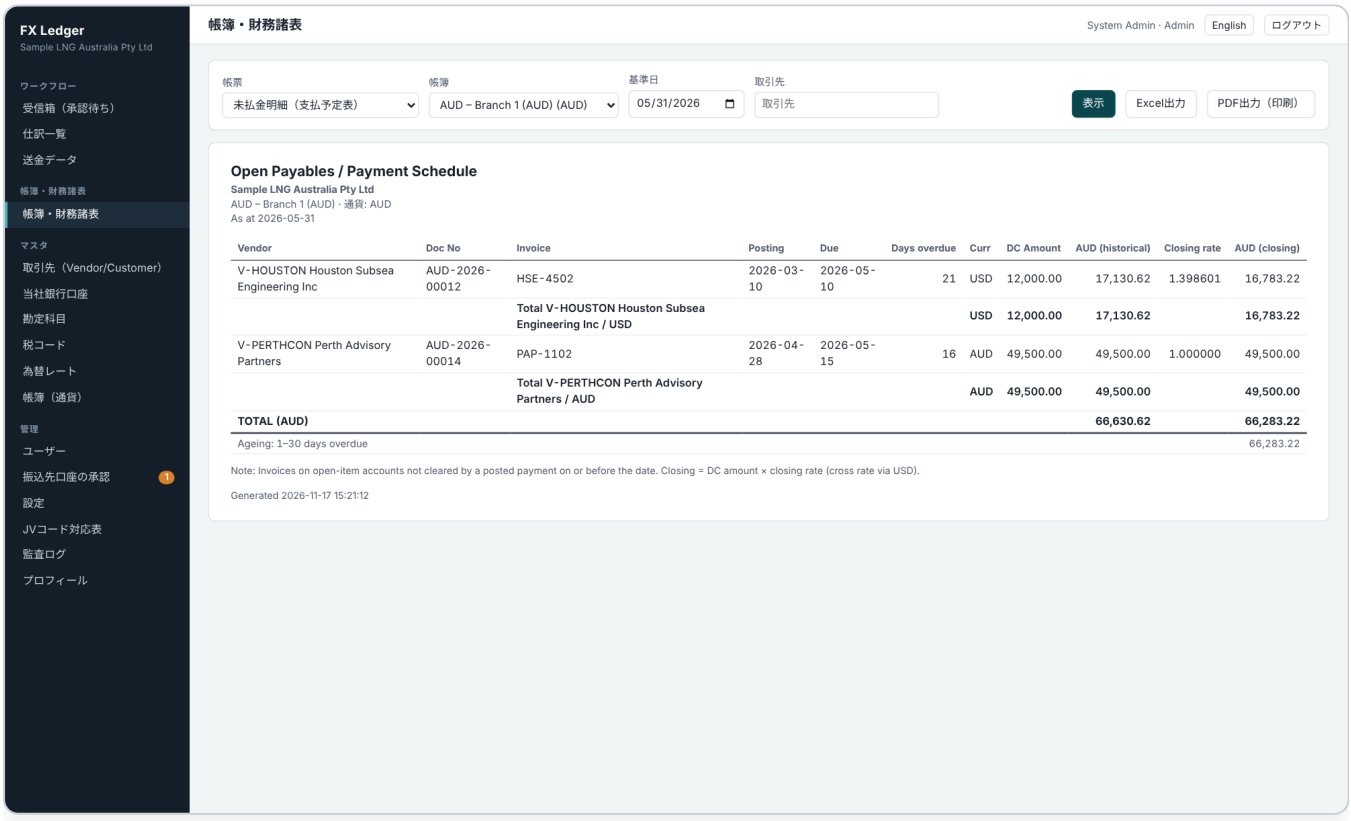


図12-4　未払金明細（支払予定表）。取引先別の未払請求書、支払期日、経過日数、期末レートでの換算額

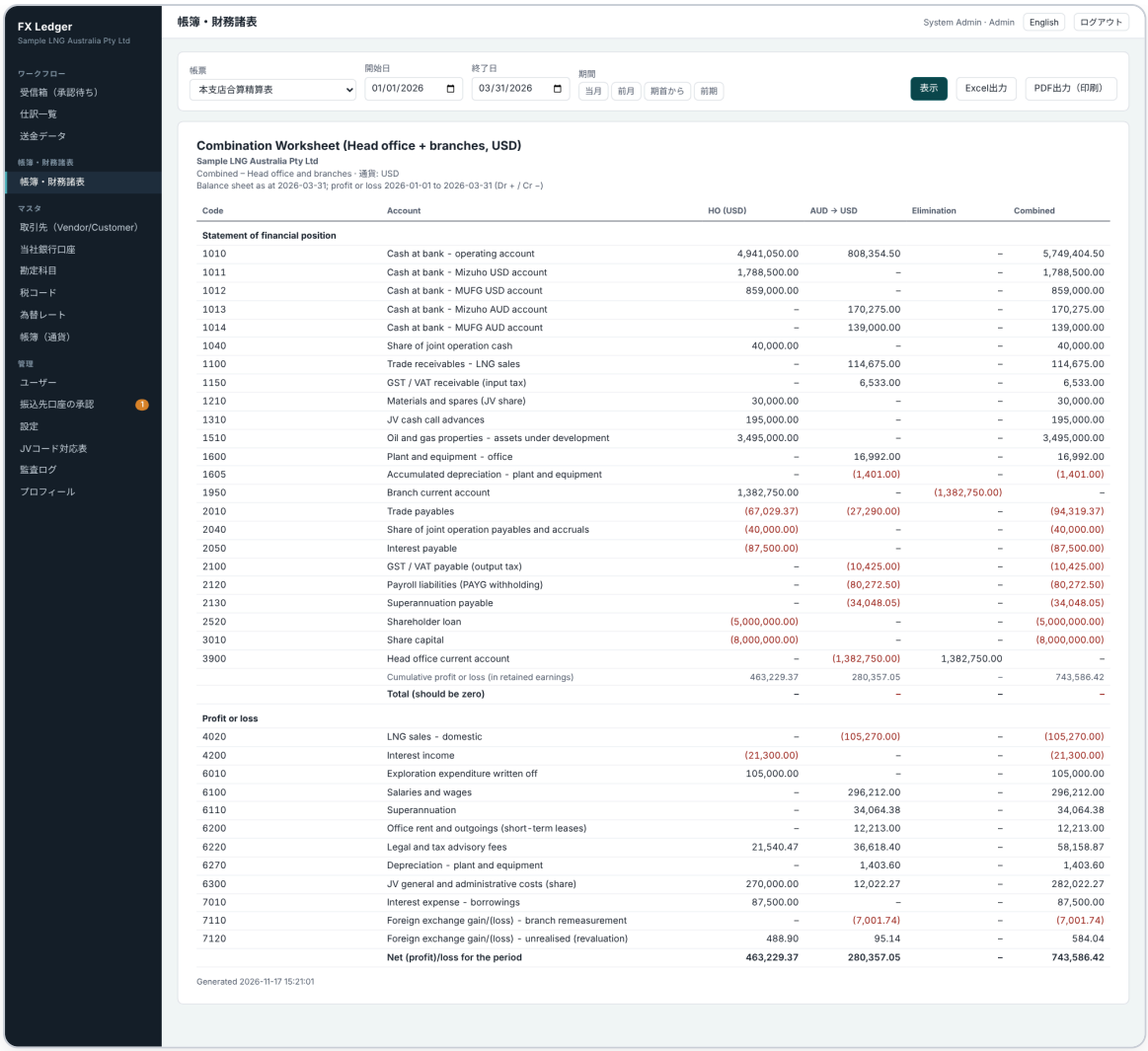


図12-3　本支店合算精算表。支店勘定（1950）と本店勘定（3900）が相殺される過程を確認できます。

13. マスタ管理

マスタ	内容	更新できるロール
勘定科目	LNG開発JVに参加する会社向けの標準科目を約95科目登録済みです（銀行口座別の預金科目、7120 期末換算差損益を含む）。科目ごとに財務諸表区分、貨幣性・非貨幣性、CF区分、CF表示行を設定します（日本語名・英語名）。	System Admin
取引先	Vendor／Customerを一元管理します。コード、名称、現地語名、国、税番号（ABNなど）、通貨、支払条件を持ちます。	Initiator・System Admin
振込先口座	Vendorごとの振込先（BSB／SWIFT）。登録・変更は別のシステム管理者の承認後に有効になります。	Initiator・System Admin（承認はSystem Admin）
当社銀行口座	Mizuho・MUFGのUSD口座とAUD口座。帳簿、勘定科目、BSB、口座番号、ABAのユーザー名・APCA User ID・金融機関略号、BIC、依頼人住所を設定します。	System Admin
税コード	GST 10%、資本財GST、輸出などの免税（GST-free）、非課税（Input-taxed）、対象外。税率と税額を計上する勘定科目を設定できます。	System Admin
為替レート	日次・月中平均・期末の3種類。AUD・JPY・EURなど任意の通貨を登録できます。CSVでの一括登録に対応しています。	System Admin
帳簿（通貨）	本店USDと支店（AUDなど）。支店は追加・休止できます。	System Admin
JVコード対応表	Billing Statementのコストコードと勘定科目の対応	System Admin

14. セキュリティ・内部統制

- HTTPSでの通信を必須にしています。パスワードは強度の高い方式で暗号化して保存し、5回続けてログインに失敗するとアカウントを15分間ロックします。
- 不正なリクエストの防止（CSRF対策）、セッションの無操作タイムアウト（8時間）、設定ファイルやプログラムへの外部からのアクセス遮断を行っています。
- ログイン、仕訳の作成・回付・承認・転記、マスタの変更、帳票の出力などの操作をすべて監査ログに記録します。
- 転記した仕訳は修正も削除もできません。訂正は逆仕訳で行います。締め済み期間には記帳できません。
- 振込先口座の登録・変更は変更者以外の承認が必要です。送金データの作成・ダウンロードは承認者とシステム管理者に限られ、すべて記録されます。

15. 動作環境とベータ版の制限事項

動作環境

項目	内容
サーバー	PHP 8.1以上、MySQL 5.7以上／MariaDB 10.3以上（cPanelの一般的なホスティングで動作します）
ブラウザ	Google Chrome、Microsoft Edge、Safari、Firefoxの最新版
画面の言語	日本語／英語（ユーザーごとに切替）。帳票は英語で出力します。

ベータ版の制限事項

- 未収金（売掛金）の消込みと入金管理はありません（未決済項目の管理は買掛金のみ）。
- 送金データは銀行への自動送信を行いません。出力したファイルを各銀行のWeb Bankingにアップロードしてください。ファイル仕様は各銀行の最新の仕様書で確認してください。
- 承認依頼のメール通知はありません（承認待ちは受信箱に表示されます）。
- 金額に応じて承認者を変えるルール、為替レートの自動取得はありません。
- ベータ版のため、本番の決算に使う前に、試験用のデータで帳票の数値を必ず確認してください。

各ユーザー向けの詳しい操作手順は、別冊の「FX Ledger ユーザー別操作説明書」をご覧ください。